

検証・評価チームにおける議論の進め方（素案）

平成24年8月7日

内閣府自殺対策推進室

1. 集計データ等の確認

- 各集計データ等の意味するところを確認
- 更に別の観点から必要な集計・整理の指摘

2. 現場における実施事業のイメージづくり

- オブザーバー2名からヒアリング（秋田県、長崎県の事例等）

第1回

3. データ等による定量的分析（全国、都道府県、事業類型別）

- 事業はどの程度の広がりをもって展開されているか
- 基金は全都道府県・市町村で有効に活用されているか
- 事業は効率的（費用対効果等）に実施されているか
- どの事業の効果が高いと考えられるか
- 自殺者数、自殺死亡率等その他のデータとの関係についての分析 等

4. 個別事業の定性的な分析

- 特徴的、他地域の参考となる取組事例について（工夫点、更なる改善点）

第2回

5. 今後の方向性についての検討

- 事業ごとの今後の方向性
 - ◇ 今後の展開の方向性（拡充／縮小／廃止／他分野の既存事業への吸収 等）
 - ◇ 全国において実施が期待される事業
 - ◇ 地域の特性により重点的な実施が期待される事業
 - ◇ 今後、新たに（重点的に）取組が期待される事業
- 執行面の課題
- 来年度以降の効果測定・評価に当たっての課題 等

第3回

→ 提示される論点整理／報告書素案について議論